

令和8年度専門性の向上を目指す研修<選択研修>の方向性

研修を見直した背景

- 社会的変化の速度向上や非連続化の中で教師の学びに求められる要素が大きく変化
- 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続ける姿勢が必要

*「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて審議まとめより



【目指す教師の学びの姿】

- ・探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に学ぶという教師の主体的な姿勢の涵養
- ・個別最適な学びと協働的な学びの往還を意識しながら、自己、他者、先哲等との対話や振り返りの機会を教師の学びにおいても確保

【学びの丘が目指す研修のキーワード】

○受講者が主体的に参加

○受講者が悩み考える過程を重視

○受講者の実践意欲の向上

研修の工夫・改善点

①研修の実施形態を柔軟に

様々な実施形態を単独
又は組み合わせて実施

リアルタイム・
オンライン

対面

オンデ
マンド

- 対面研修では具体物の活用や体験、対話を重視
⇒場の空気・熱量の共有
- リアルタイム・オンラインでは利点を最大限活用
⇒移動の負担を軽減
⇒演習や情報共有の効率化
- オンデマンドによる個別最適な学びの充実
- 半日研修の実施

等

②インターバル研修でじっくり深く

※インターバル研修：「学ぶ→実践する→振り返る」を繰り返す研修

令和8年度から

7研修(20講座)へ拡充

実践

往還

理論

- 実践、試行錯誤を繰り返す。
⇒日々の経験や他者から学ぶといった「学校現場での経験」を大切にする。
⇒こどもの変容を見取る。
⇒自身の教育実践の特徴や考えの枠組み、自己の「在り方」を考える。

等

参考：令和7年度はインターバル研修を1研修(3講座)実施

③令和8年度<選択研修>の例

<特定研修>も「キャリア教育研修【全2回】」を新たに実施 (県立学校対象)

研修名と
目的を具
体化

- ・こどもを主語にした授業づくり【全3回】
- ・教職員一人一人が主体的になる研修づくり～学び続ける教職員を目指して～【全3回】
- ・こどもの自己肯定感を高める行動支援【全3回】
- ・生徒が夢中になる！オープンエンドな課題作成の視点とその事例を学ぼう！～数学科教育研修講座～【全2回】
- ・教科書掲載実験を通じた探究的な理科の授業づくり【全3回】
- ・主体的・対話的で深い学びにつなげる1人1台端末の活用と授業デザイン【全3回】
- ・こどもの姿から授業改善について考える！～小学校算数教科教育研修講座～
- ・探究的な学びを支える学校図書館研修講座

*目的については、学びの丘ウェブページに掲載する専門性の向上を目指す研修一覧表を参照